

キーボードでの指の位置と入力範囲

左手の指のホームポジション(入力しないときの位置):

小指 - 「A」 薬指 - 「S」 中指 - 「D」 人差し指 - 「F」(突起あり)

右手の指のホームポジション:

人差し指 - 「J」(突起あり) 中指 - 「K」 薬指 - 「L」 小指 - 「;」

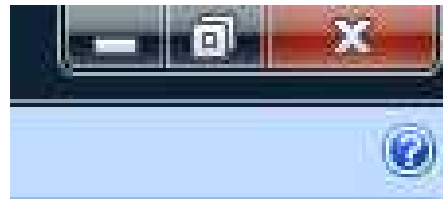
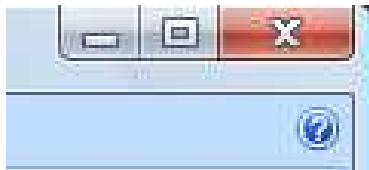
親指は「スペース」キーの上に置く。



ブラインドタッチ: キーボードを見ないで入力できることが望ましい。多様な練習ソフトがある。

ボタンによる Window のサイズ変更

- 「最大化」ボタンをクリックすると、画面は最大になる。
- 元の大きさのウィンドウに戻すには、「元のサイズに戻す」ボタンをクリックする。
- デスクトップからウィンドウを消すには「最小化」ボタンをクリックする。
- 最小化したウィンドウを元に戻すには、タスクバーのボタンをクリックする。
- ウィンドウを閉じるには、「閉じる」ボタンをクリックする。
- これらのメニューは、タスクバーのボタンを右クリックしても表示される。



特殊キー

CapsLock: 「Shift」と同時に押すと、アルファベットが大文字

Space(スペース): 空白の入力

Shift(シフト): 他のキーと一緒に押すと、上段に刻印されている文字や記号、アルファベットの大文字が入力される

Tab(タブ): タブの入力

BackSpace(バックスペース): 前の文字を消す

Enter(エンター): 改行、文字変換の決定

Delete(デリート): 先の文字を消す

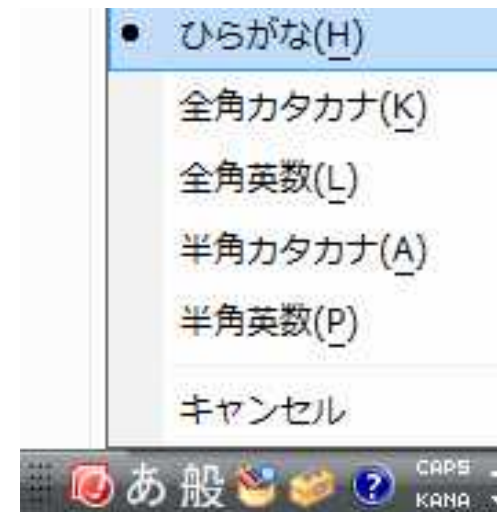


「ひらがな入力モード」に切り替える

言語バーの「入力モード」ボタンをクリックする。

入力モードの表示が「あ」なら、既に「ひらがな入力モード」。
「ひらがな」をクリックして、「ひらがな入力モード」にする。

他の入力モードにすることもできる。



「半角/全角」キーを押すと、日本語入力モードと「半角英数」モードが交互に切り替わる。

漢字を入力する

日本語入力で、読みを入力する。

「変換」キーまたは「スペース」キーを押す。

「変換」キー、「スペース」キー、「↓」キーのどれかを押して、目的のものを選択する。

「Enter」キーを押すと、文字が確定される。

行き過ぎた場合には、「↑」キーや、「Shift」キーを押しながら「スペース」キーを押すと、上に戻る。

文字種変換キー

- ひらがな変換 F6
- 半角文字変換 F8
- 半角英数字変換 F10
- カタカナ変換 F7
- 全角英数字変換 F9

特に F7 (カタカナ変換) が便利。

日本語入力モードのままで半角スペースを入れるには、「Shift」キーを押しながら「スペース」キーを押す。

大文字、小文字、文字の消去

- 「CapsLock」キーがオン：
 - アルファベットが大文字で入力される。
 - 「Shift」キーを押しながら入力すると小文字で入力される

「IMEのツールバー」の「CAPS」が沈んで見える。

「Caps」ランプが点灯している。

オンとオフの切り替え：「Shift」キーを押しながら、「CapsLock」キーを押す。



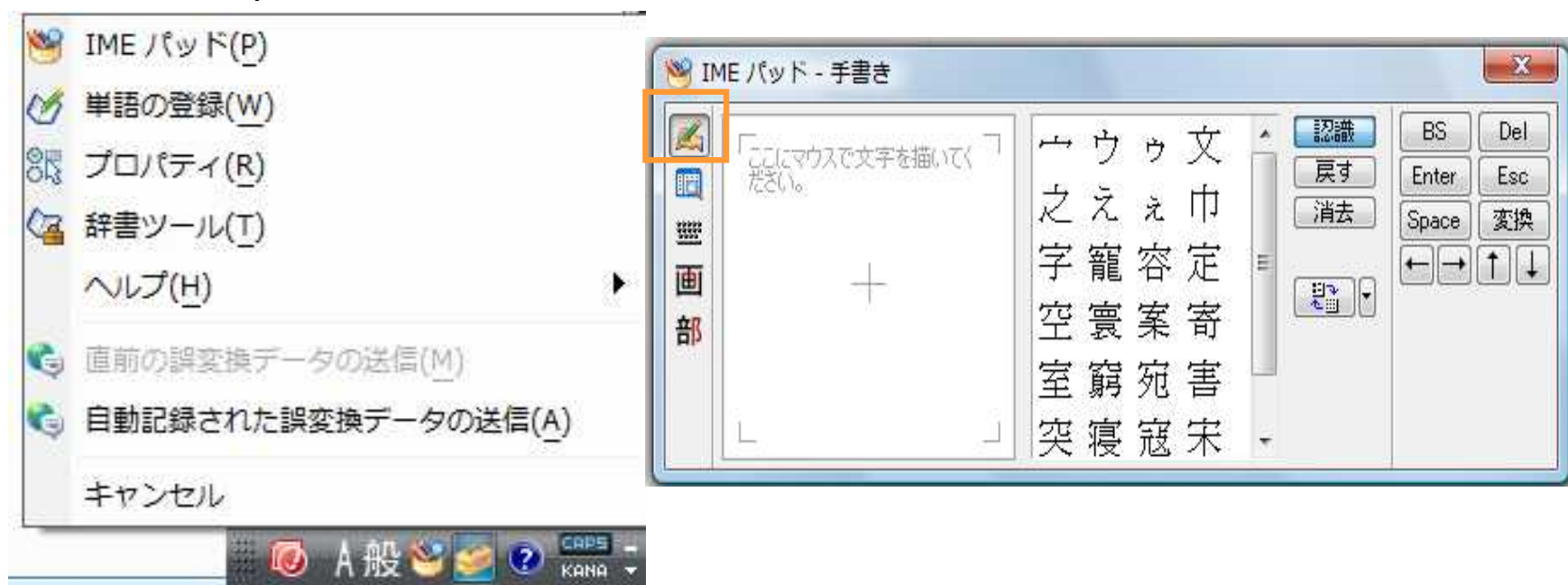
- 「Delete」キー：一つ後の文字を消去する。
- 「BackSpace」キー：一つ前の文字を消去する。
- この2つのキーは、必要に応じて使い分ける。

IME (Input Method Editor) パッド

IMEパッドを使って、マウスで書いた文字から、目的の漢字を探し出すことができる。
読み方の分からない漢字や記号の入力に便利。

IMEパッドの開き方 (1): 「言語バー」の「IMEパッド」をクリックする。

IMEパッドの開き方 (2): 「言語バー」の「ツール」→「IMEパッド」→「手書き」とクリックする。



開いたIMEパッドで漢字を探す

- 入力例：匯の入力

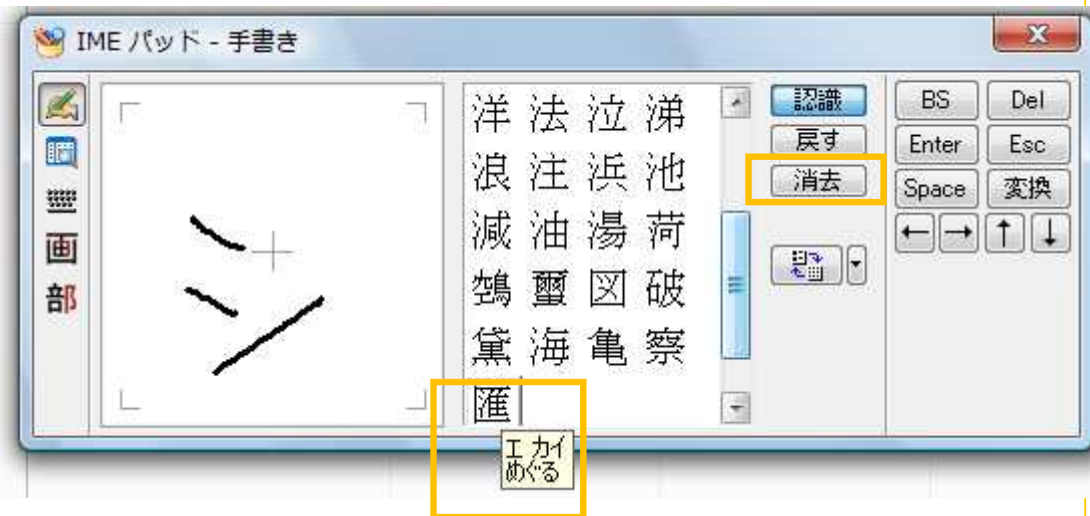
ワード画面で、匯を入力
したいところにカーソル
を置く。

目的の漢字の一部をマウ
スを使って書く。

もし右欄に目的の漢字が
なかったら、「消去」をク
リックし、再入力してみる。

右欄で、目的の漢字をク
リックする。

文字が入力される。



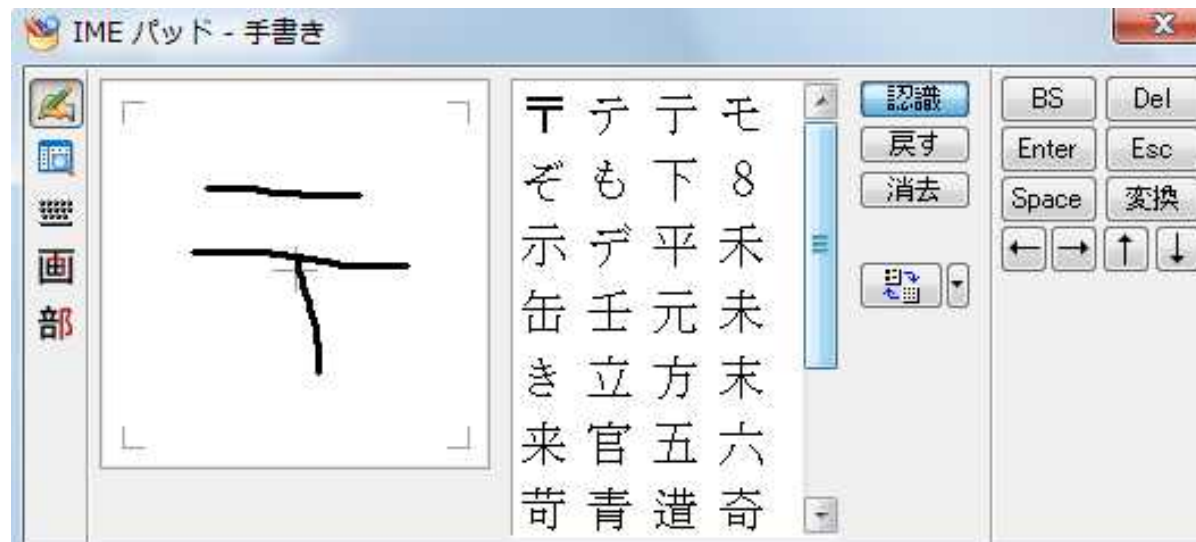
IMEパッドで記号を探す

- 入力例(「郵便番号の記号」〒のような記号も入力できる。)

ワードを開いて〒を入力したいところにカーソルを置く。

目的の記号の一部をマウスを使って書く。

目的の漢字や記号をクリックする。



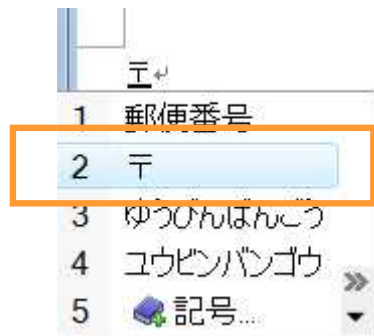
漢字変換機能を用いた記号の入力

日本語入力モードでの漢字変換機能を用いても、記号を入力できる。

「ゆうびんばんごう」と入力して、「Shift」または「変換」キーを押す。

「郵便番号の記号」が表示されるので、それを選択する。

「Enter」キーを押すと、ワード等へ入力される。

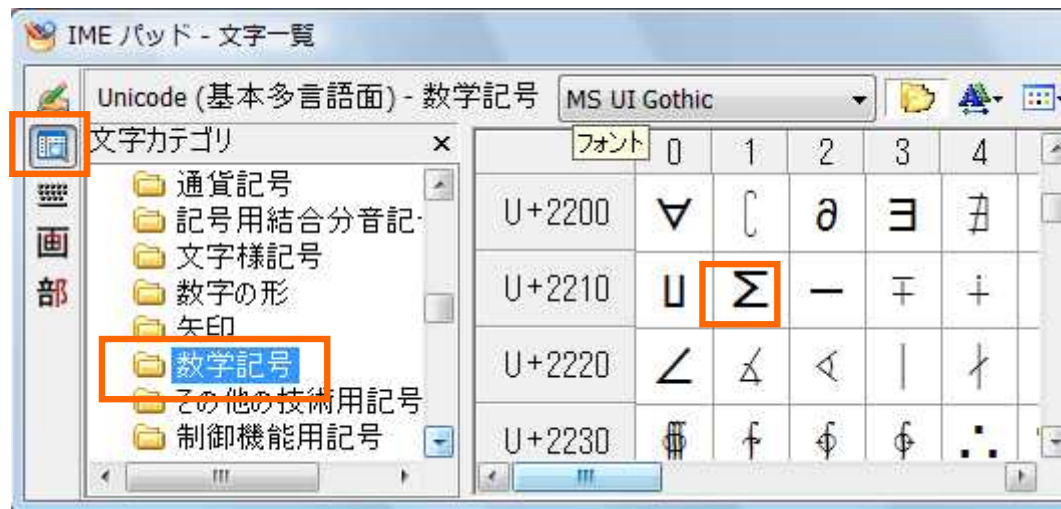


文字一覧を用いた入力例(1)

ワード画面にカーソルを置き、IMEパッドの左側の「文字一覧」ボタンをクリックする。

「文字カテゴリ」欄で適当なものを選択する。

右欄で目的の文字をクリックする。



課題

課題1 ワードに ○ ● Σ ∽ を入力せよ。

課題2 ワードに文字、靡、徼、勲、朦を入力せよ。

課題3 課題2の漢字の部首の画数を書け。

課題4 課題2の漢字の読み方を書け。

課題5 「であ、でい、でう、でえ、でぉ」と入力せよ。

発展課題

「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「時計、言語、および地域」→「地域と言語のオプション」→「キーボードと言語」タブ→「キーボードの変更」ボタン→「言語バー」タブをクリックし、「表示しない」にチェックを入れ、「OK」を2回クリックすると、「言語バー」が表示されなくなる。

上記の操作を参考にして、「言語バー」が表示されていない場合に、それをデスクトップ上に表示させる操作手順を書け。

上記の課題の答を書いたワード文書を、学籍番号と氏名をファイル名として、デスクトップ保存せよ。そして、それをメールに添付して提出せよ。

デスクトップのファイルは、提出後に、削除せよ。

